

海兵隊太平洋基地司令官
ポール J. ロック准将 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

普天間飛行場におけるサイレン音の発生について（抗議・要請）

6月26日の未明及び早朝、市内各地で基地内からと思われるサイレン音が確認され、本市にも多数の苦情が寄せられました。

本市として、沖縄防衛局に対し事実関係を照会したところ、「普天間飛行場東側に設置されている緊急時放送システムが、26日の午前3時、午前3時30分、午前4時、午前5時45分にそれぞれ誤作動する事態が発生した。」との米側からの回答を得たとの報告がありました。

市街地のど真ん中に普天間飛行場を抱える宜野湾市民は、返還合意から21年が経過した今なお危険と隣り合わせの状況が続き、夜間騒音など日々基地負担に苦しんでおります。

そのような中、未明及び早朝の静かであるべき時間帯に、大きなサイレン音が鳴り響き、市民からも「寝られなかった」「何が起こったのか」という憤りと不安を訴える声が多数上がるなど、市民生活に多大な影響を及ぼしたことは、本市として極めて遺憾であります。

同種の誤作動は、平成23年9月、平成24年5月にも発生しており、対策が十分に取りられているのか疑問を持たざるを得ず、今回の事案に対し断固抗議するとともに、下記の事項について強く要請いたします。

記

- 一、 今後同様な事案が起こらないよう、原因の究明と再発防止をより一層徹底すること
- 一、 市民生活に影響を及ぼす可能性がある事案については、時間帯にかかわらず、その都度速やかに日米間での情報共有が可能となる体制を構築し、本市並びに周辺住民に対し丁寧な説明を行うこと
- 一、 問題の抜本的解決に向け、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還を実現すること